

令和4年11月発行

東灘区サポセン通信 第6号



発行 東灘区医療介護サポートセンター

住所：〒658-0054 神戸市東灘区御影中町4丁目1-8 東灘区医師会館内3階

TEL: 078-822-0171 FAX: 078-822-0172 担当: 小西、飯野

木々も少しずつ色づいてきましたね。コロナの第7波の間も医療介護・福祉職の皆様には本当にご尽力いただきまして感謝申し上げます。今年度、東灘区医療介護サポートセンターは、神戸市東灘区医師会副会長と2名の担当理事の先生方の下、活動しております。



神戸市東灘区医師会 会長 是則 清一

3年目に入ろうとするコロナ禍ですが、第7波においては医療介護業界のみならず、プロ野球や大相撲、Jリーグなどの運営においても大変なことになっていました。

そんな中、東灘区医師会、サポートセンターにおいては、人事の異動があり医師会においては堀本会長から引き継いで私が医師会長となることになりました。サポートセンターも立ち上げからかかわってくれた大黒柱のコーディネーター長友さんが異動になり、小西さんが着任されました。

またサポートセンター長には、堀本先生に代わり、青山東灘区医師会副会長が就くことになりました。

NSTの活動も含めて医師会としては、児島理事、谷尻理事も含めて一体となって地域包括ケアの推進に向けて力を注ぎたいと考えておりますので皆様のご協力をお願い申し上げます。とても大変なコロナ禍ですが、逆にそんな時こそ真の医療介護連携が必要とされ感染対応や各種情報共有が必要とされると思います。

これまで積み上げてきたことをさらに活かしてレベルの高く楽しい地域連携を築いていきましょう。



神戸市東灘区医療介護サポートセンター サポートセンター長 青山 正人

今年度から東灘区医療介護サポートセンター長を拝命しました青山です。日頃は、サポートセンターへのご理解、ご協力を頂きまして有難うございます。特にこの東灘区では、医師会の方針として神戸市内でも他区に先んじて多職種間の連携強化を重要視して様々な活動を行ってきました。区内の基幹病院や訪問看護ステーション連絡会、ケアマネジャー連絡会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会からも多数参加して頂き、各種講演会や研修会などを通して相互の連携と協力体制の構築を図っています。

実際に「食支援プロジェクト」や「在宅NST」は他府県からも注目を集めている活動です。ここ数年は、コロナ禍の影響で活動制限を余儀なくされましたが、期せずして多職種連携の重要性を再認識させられる結果となりました。改めて地域医療に貢献するべく医師会の重責を痛感しています。これからもこの連携の輪を広げて地域ケアの更なる充実を目指し研鑽に励みたいと思います。

今後ともご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東灘区医療介護サポートセンターメンバー紹介



4月より着任しました小西美歌子です。「毎日、笑顔で明るく楽しく！」が、モットーです。サポートセンターでは医療と介護の橋渡しを行い、顔の見える関係性づくりを目指していきたいと思っております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



『訪問看護ステーション連絡会についてPR!』

訪問看護師の活動は、直接利用者宅へ出向くことを主な業務としておりその人らしい生活が送れるよう医療的ケアを中心にサポートすることを生業としています。

東灘区には、現在 27 箇所の訪問看護ステーションがあります。各訪問看護ステーションには違った特徴があり、精神科、小児、がん緩和ケア、リハビリテーション（PT・OT・ST が在籍）、24 時間対応、呼吸・循環器疾患に強いなど、それぞれのステーションが強みを生かし、東灘区の地域包括ケアの一端を担っております。

そんなステーション同士が定期的集まり、研修や情報共有など、連携を深めているのが東灘訪問看護ステーション連絡会です。最近では ZOOM 開催となっているので、皆様のご参加お待ちしております。



<多職種連携について思うこと> エンジェル訪問看護ステーション 西本 みゆき

利用者さんを中心として

現在の私たちのステーションで行っていることは、どこのステーションでも行っているとは思いますが、ノートを積極的に使用しています。今更とは思いますが、ヘルパーさんとの間では特に効果があり、夫婦共認知症で娘様が遠方におり直接顔を合わせて話ができない現状、情報共有するのに喜ばれています。又、主治医の先生との間では、状況報告と指示や先生の考えを記入できる解答欄を設けた FAX を連携のツールに活用しています。とてもアナログですが先生の自筆の返信を見るととてもうれしいです。ただ、そこまでに情報をきちんと把握して何が問題なのか、何が必要なのかを関係している多くの方の意見を集約、吟味することが必要だと思います。それには、本当にケアマネジャーさんの労力は大変なものとも痛感しています。私は個人的にケアマネジャーの業務をもっと知ることも不可欠ではないかと思っています。

<多職種連携について思うこと> 訪問看護ステーションだんげ 理学療法士 上河原 洋之

リハビリテーションの根本は「認める」ことだと思います。これは多職種連携にも通じるものがあると考えます。職種の違いから来る視点の違いや知識量、経験値の違いなどを、お互いに認めあい、許容する。多職種間でそんな関係を築くことができれば、利用者（患者）様に最大の利益を生むことになると思います。色々な場面で繋がって、話しましょう！

★次回は、神戸市(東灘区)ケアマネジャー連絡会にバトンタッチです。





1. 2022年度 第1回 東灘区在宅医療・介護連携推進協議会

2022年6月8日(水) 14:00~15:30 東灘区医師会館3階ホール (参加者 22名)

「東灘区在宅医療・介護推進協議会」は、在宅医療を推進するための課題の抽出及び解決策の検討、医療と介護の多職種連携を効果的に促進するための検討などの活動を行っています。

区内23団体 29名の委員で構成され、任期は2年となっており、今年度より新しい任期がスタートしました。新会長は、青山 正人先生(神戸市東灘区医師会 副会長)です。

2. 2022年度 第1回 東灘区在宅医療塾 (参加者 26名)

「薬剤師会の役割を通して多職種との連携について考える」

～在宅療養者の薬剤管理や多職種連携について事例を通して学ぶ～

2022年8月22日(月) 14:00~16:00

東灘区医師会館3階ホール (参加者 21名)

東灘区薬剤師会と共催

<講演> 「在宅訪問における薬剤師と薬局の役割」

～薬剤師とつながってみませんか?～

講師：ニコニコ元気堂薬局のより店 管理薬剤師 清水 美智子氏

<パネルディスカッション>

「薬剤師と多職種連携についての現状と課題」

座長：神戸市東灘区医師会 理事 児島 隆介先生

パネリスト：訪問看護師、訪問介護員、ケアマネジャーの皆様



《アンケートより意見》

- ・訪問看護の介入で薬の管理は出来ているつもりでしたが、訪看さんの時間がとてもかかっていると思わなかったため、薬のことは、薬局さんに助けて貰うように相談していこうと思う
- ・多職種連携の一つとしての存在意義は大きいと思う。調剤薬局が一か所でかかりつけ薬局の役割を担えば、薬剤管理しやすくなると思う
- ・「外来服薬支援」をもっと活用していきたい
- ・医療、介護保険関係なく症状に合わせて連携をとっていきたい

3. 令和4年度 医療介護連携を学ぶ研修会

「心臓疾患を持つ利用者の退院時連携を考える」

2022年度8月29日(月) 13:30~15:30 Zoom 開催 (参加者 48名)

東灘区あんしんすこやかセンターと共催

<講演> 「心臓リハビリテーション」

講師：公益社団法人 甲南会 六甲アイランド甲南病院

循環器内科 部長 水谷 和郎先生

理学療法士 代田 祥啓先生

<事例検討とグループワーク>

- ・心臓リハビリ自体の知識が皆無に等しく、もっと学びが必要だと思った
- ・心疾患を持つ方は、比較的ADLが自立しておられるので介護度に反映されないことが多く、サービスを増やすことができない。➡病院に区分変更の相談もしていただきたい
- ・病院でできていることと介護保険でどこまでできるのか、情報共有がとても大切
- ・本来は、病院と在宅のセラピスト同士(同職種間)で話し合いたいが、書類のみの交換になっている

<講評>

- ・グループワークを見て、まだ心臓リハビリテーションという言葉が理解されていない、普及されていないと感じた
- ・ゴール設定は、如何に自宅で長く過ごせるか、維持できるようにすることが目標
- ・必ずしも「心臓の機能が悪い」イコール「動けない」ではない。上手に動けば、動けるようになっていく。病院側としては、上手に心臓リハビリテーションを行った上で在宅に戻った時の心配を少しでも払拭できるような形で動いている

相談について

医療・介護・福祉職の方々の相談窓口です！



★令和3年4月から令和4年3月実績 相談件数 187件

《主な相談者》

居宅介護支援事業所 59件、診療所 30件、あんしんすこやかセンター 32件
病院 21件、訪問看護ステーション 16件

《主な相談内容(複数回答)》

制度関連 41件、訪問診療・往診医の紹介 43件、医療機関(病院・診療所等)の紹介 31件
介護資源について 29件、訪問看護について 22件

★相談事例から

- ・居宅介護支援事業所より
○歳男性、要介護5。ALS。嚥下訓練と口腔ケアのため訪問言語聴覚士を探している。
➡ 東灘区内の訪問看護ステーション2か所を紹介した
- ・他区病院MSWより
○歳女性、要介護1。乳がん。コロナ陽性で入院中。5日後に隔離解除となるが、本人も家族も退院を強く希望。今後緩和ケアも必要となってくるため、在宅医を探している。
➡ 2か所情報提供。1か所は訪問診療、緩和ケア病棟、居宅、訪看の併設もあり。問い合わせにて受け入れ可能であることも伝えた(翌日退院となったとの報告があった)。

いつでも気軽にご相談くださいね！

お困りごとの解決に向けて、一緒にお手伝いさせていただきます。

情報提供



★新型コロナウイルス感染症後遺症相談ダイヤル・・・10時～17時 月 金・日曜日(土・祝日除く)

新型コロナウイルス感染症の治療・療養終了後も続く症状についての相談窓口です。新型コロナウイルス後遺症相談ダイヤルでは、後遺症に対する不安や悩みの相談を聞き、受診可能な医療機関の案内を行っています。

TEL： 078-322-6037

FAX： 078-391-5532（耳や言葉の不自由な方のご相談はこちらから）

★令和4年度診療報酬改定

令和4年10月1日から、国の制度の見直しにより、紹介状を持たずに外来受診する患者さん等の「特別料金」の額の引き上げになります！

 www.mhlw.go.jp/content/12400000/000963828.pdf

日々情報は更新されます。新しい情報は、神戸市や兵庫県のホームページで必ずご確認ください。

サポートセンターから



今年度、東灘区のサポートセンターのメンバーがリフレッシュし、平均年齢も若返りました！
今年の夏もコロナ感染症の第7波で延期となった研修会もありましたが、一方で久しぶりに顔を合わせた研修会も開催し、改めて「当たり前の日常」に感謝しました。でも、この3年間は決して無駄ではなく、今後も感染症だけでなく、災害などどんなことがあってもみんなで知恵を出し合い、工夫して乗り越えていける結束力ができたのではないかと思います。サポートセンターも皆様のお力になれるように一緒に考え、提案し、支えていきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします！

東灘区医療介護サポートセンター

小西 美歌子・飯野 留美子

TEL：822-0171

開所時間：月～金 9：00～17：00（土日祝休み）

FAX：822-0172



神戸市各区のサポートセンターの活動、研修会の案内や報告など
ホームページで紹介しています。

ホームページアドレス

<https://kobe-iks.net/>